

## 目標達成計画

作成日: 平成23年10月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	施設側としてはご本人または家族からの希望があれば終末期においても当ホーム内で、できる限り暮らし慣れた環境のもと生活を続けていけるようにしていきたいので、再度マニュアルや同意書の整備を行えるようにしたい。	職員一人一人が終末期がどのような経過をたどり、自分たちに何ができるのかを理解し考え、援助することができるようになる。	年3回の緊急時または観察対応ポイントの研修を行う。入居者が終末期を迎えた場合を想定しホーム内でできることや家族医療機関への連絡体制、受診前後までのマニュアル整理、早期発見につながる観察ポイント等を指導する。	6ヶ月
2	35	近隣住民等が気軽に足を運べるような施設運営ができておらず、避難訓練等での協力体制を構築したい。	定例の避難訓練に地元消防団を交え活動を実施する。	地域住民に向けて協力依頼のチラシ、広告を配布する。職員が地域の奉仕活動に積極的に参加する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。